



広報

温暖化防止特集号

お問い合わせ
環境課環境保全係
kankyou@city.inagi.lg.jp

緑のカーテン



ホームページ <http://www.city.inagi.tokyo.jp/>
携帯電話版 <http://www.city.inagi.tokyo.jp/i/>
(左のQRコードを読み取り機能付き携帯電話で読み取ってください)

市役所(代表) ☎042-378-2111
平尾出張所 ☎042-331-6346
若葉台出張所 ☎042-350-6321
開庁時間 午前8時30分～午後5時

発行 東京都稲城市 編集 秘書広報課広報広聴係 〒206-8601 東京都稲城市東長沼2111 ☎042-378-2111 ☎042-377-4781

温暖化防止と省エネを「楽しく」「賢く」実践！ みんなで地球の負荷を減らしましょう！

地球温暖化は現実の問題です



現在地球では、人間の活動によって増加した「温室効果ガス」の影響により、気温や海水温が上昇してしまう「地球温暖化」が世界規模で起こっています。

この地球温暖化が進行することにより、砂漠化の進展などの直接的な影響の他、気温の上昇に耐えられない動植物の絶滅など、たくさん問題が起こってくるものと予想されます。

地球温暖化の問題は、今すぐ取り組まなければならない課題であり、長く続けていくことが重要です。楽しく続けられる工夫や、日々の生活の負担にならないような工夫を考えて、一人ひとりに合った環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を目指しましょう。

エコカーへの買い替えがチャンスです

現在、一定の環境要件を満たした自動車を購入する際に、国からエコカー補助金を受けられます。また、自動車取得税や自動車重量税などが軽減・免除される、エコカー減税も継続中です。



自動車を購入する際は、環境に優しいエコカーを選びましょう。
▷補助金問い合わせ エコカー補助金コールセンター
☎0570-003-053 (受付時間：平日 午前9時～午後5時)

地球にやさしく家計や経費が節約できる 省エネルギー診断受付中！

省エネの実践は、地球温暖化防止だけでなく、家庭や会社の経費削減に直結します。東京都による無料の省エネ診断制度を活用し、今まで見逃していた「無駄」を見直してみませんか。

家庭向け 省エネルギー診断

省エネのスペシャリストがあなたのご家庭を個別診断し、それぞれのご家庭に合った省エネ方法をご提案します。

事業所向け 省エネルギー診断

技術専門員が事業所へ直接お伺いし、電気やガス等のエネルギーの使用状況や設備の運用方法を確認し、各事業所に適した改善策を提案します。



【省エネ診断を受けた場合のメリット】

- (1) 経費削減できます！
- (2) 第三者の視点から、省エネのアドバイスが受けられます！
- (3) 地球環境（地球温暖化防止）への貢献ができます！
- (4) 環境企業としてイメージアップにつながります！
- (5) 助成金・減免制度などが受けられます（条件あり）！

▷窓口 東京都地球温暖化防止活動推進センター
HP <http://www.tokyo-co2down.jp/>
☎03-5388-3422 (一般家庭)
☎03-5388-3439 (事業所)

創エネルギー機器設置には助成金の活用を！

太陽エネルギーは枯渇しないエネルギーとして、また二酸化炭素などの温室効果ガスを排出しないエネルギーとして注目されています。さらに、ガスコージェネレーションシステムや蓄電システムも含めた「創エネシステム」も注目されています。

国・東京都では、こうした機器について導入補助を行っています。
※補助申請要件や制度の詳細等については、各窓口にお問い合わせください。

国の助成制度

【対象機器】

太陽光発電システム
▷窓口 太陽光発電普及拡大センター (J-PEC)

☎043-239-6200 (受付時間：平日 午前9時20分～午後5時20分)
HP <http://www.j-pec.or.jp/>



▲健康プラザの屋上にも太陽光発電システムが設置されました

東京都の助成制度

【対象機器】

- ①太陽光発電システム ②ガスコージェネレーションシステム
- ③太陽熱利用システム ④蓄電システム

▷窓口 (公財)東京都環境公社 東京都地球温暖化防止活動推進センター
☎03-5388-3472 (受付時間：平日 午前9時～午後5時)

創エネルギー機器は高額な買い物となるため、複数の販売店から見積もりを取るなど契約内容を吟味してから購入することをお勧めします。

また、訪問販売などでのトラブル防止のため、買う意思がない場合は、はっきり断りましょう。

【契約内容や品質等についてのトラブル相談窓口】

稲城市消費者ルーム ☎370-7510

「ライトダウンジャパン2012」にご協力ください

環境省では、2003年より温暖化防止を目的にライトアップ施設や家庭の消灯を呼び掛ける「ライトダウンキャンペーン」を実施しています。

本年は、キャンペーン10周年を迎え「でんきを消して、未来をみつめよう」をスローガンに、6月21日(木)〔夏至の日(ブラックイルミネーション)〕と7月7日(土)〔七夕(クールアース・デー)〕を特別実施日として、夜8時から10時までの2時間の一斉消灯を呼び掛けています。キャンペーンにご賛同いただける方はご協力をお願いします。



キャンペーン参加の受付は「ライトダウンジャパン2012」ホームページ (HP <http://coolearthday.jp/>) をご確認ください。

考えてみよう！「生物多様性」のために 私たちにできること



生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。地球上には、それぞれの環境に適応した3,000万種ともいわれる多様な個性を持つ生きものがおり、お互いにつながりあい、支えあって生きています。私たち人間は、こうした生きものから食料や医薬品、豊かな土壌、酸素の供給など様々な恩恵を受けています。

しかし、地球温暖化や外来種の持ち込みなど、人間の活動によってたくさんの生きものたちが絶滅の危機に瀕しています。

こうした問題を身近に捉えるため、まずは、身近な動物に触れたり、買い物はエコバッグを使ったり、家族や友達と生きものつながりを話したり、生物多様性について私たちができることを考えてみましょう。

環境省では生物多様性に関連した様々なコンテンツを用意しています。生物多様性を考える際に、参考にしてください。

▷出典・参考
環境省 自然環境局 生物多様性センター
HP <http://www.biodic.go.jp/>

地球のいのち、つないでいこう

生物多様性



できることから始めよう！ 地球温暖化防止 プロジェクトin稲城

市では、稲城市民環境クラブとの協働により、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の一環として、様々な地球温暖化対策を実施しています。

ちょっとした心掛けで地球を救う「エコドライブ」の実践や、簡単に始められる節電・省エネの取り組みから、みんなで実践していきましょう！

募集中！「エコドライブ講習会参加者」と「エコドライバー宣言者」

【エコドライブ講習会】

市では多摩ドライビングスクールと連携した「エコドライブ講習会」を開催しています。教官の指導の下、無料でエコドライブ技術が学べます。ぜひお申し込みください。

▷受講資格 日常生活で車を運転される方(ペーパードライバー不可)
▷受講条件 後日、講習会の結果票とアンケートの提出にご協力いただける方

▷講習会場 多摩ドライビングスクール(百草園駅より徒歩1分)
▷講習内容 エコドライブの講習と実技教習(合計3時間30分程度)
▷受講方法 環境課に電話でお申し込みください。応募受付後、講習会チケットを郵送しますので、各自で多摩ドライビングスクールに電話で講習日時を予約してください。

▷申込先 市役所環境課環境保全係

【エコドライバー宣言】

また、エコドライブの実践を自己宣言して下さる方も募集しています。自己宣言していただいた方には、ステッカーを差し上げています。
▷宣言方法 稲城市エコドライバー宣言書(環境課で配布。市ホームページからも入手できます)を環境課に直接持参、ファクス(☎378-3310)、メール(✉kankyuu@city.inagi.lg.jp)のいずれかの方法で提出してください。



◀エコドライバー宣言者ステッカーです。粘着シールかマグネットのいずれかが希望するものを宣言者に差し上げています。

やってみよう。試してみよう。 「打ち水」で涼を実感



「打ち水」は昔から日本で実践されている庶民の知恵です。夏の暑い日に地面などに水をまくことで、気化熱がその場の熱を奪い、涼を得られるというものです。

簡単に誰でもできるエコ活動として様々なイベントなどでも実践されています。ご家庭や職場でも色々試してみてください。

【打ち水】のポイント

①「水道水は使わない」
⇒水道水を使ってはエコ活動になりません。雨水や子ども用プールの水など、捨ててしまう水を有効に使いましょう。ただし、油で汚れた水などの利用はやめましょう。

②「風通しの良い場所で」
⇒気化熱は湿気を伴います。風通しの良い場所の方が効果を実感できるようです。

③「大勢で広範囲に」
⇒広範囲を一斉に実施する事で、涼を広く長く実感できるはず。みんなで楽しくやってみましょう。

場所や時間で様々に

朝や夕方の涼しいうちに打ち水をすると、効果が長続きするといった話があります。一方、日中の暑い時間帯に道路にまくと照り返しが和らぐといった意見もあります。

また、地面だけでなく、家の屋根やベランダ、窓辺のすだれやよしずなどにまいても効果があるそうです。

ご家庭や職場の色々な場所や場面で試してみてください。きっとライフスタイルに合った「打ち水」が見つかるはずです。

家庭で！職場で！ できることから始めてみよう！「節電の取り組み」

東京都では「東京都省エネ・エネルギーマネジメント推進方針」を定め、これからの省エネや節電の方向性を示しています。

今夏以降の省エネ対策の基本となる「賢い節電」について、基本原則(3原則)や家庭向け、事業所向けの7か条の対策メニューを提示するなど、分かりやすい内容となっています。

家庭や職場で、今年はどうな節電や省エネを実施しようか考える際に、下記の「賢い節電3原則」や「賢い節電7か条」を参考にしてください。

▷出典 東京都環境局
「東京都省エネ・エネルギーマネジメント推進方針」(抜粋)

賢い節電3原則

1. 無駄を排除し、無理なく「長続きできる省エネ対策」を推進
昨夏見直された電気の使い方を定着させ、無駄の排除を徹底するとともに、経済的にもメリットのある省エネ対策を、CO ₂ 削減の視点も踏まえ、徹底し、定着させていく。
2. ピークを見定め、必要なときにしっかり節電(ピークカット)
猛暑であっても、需給がひっ迫する可能性のある日や時間帯は限られる。日常的に取り組む省エネ対策と、需給ひっ迫時に追加的に実施するピークカット対策とに分けて対策を計画しておく。
3. 経済活動や都市のにぎわい・快適性を損なう取り組みは、原則的に実施しない。
経済活動に大きく負荷をかける取り組みは行わない。また、ピークカット効果が小さく、負担の大きい一部の取り組みは、実施を前提としない。

家庭向け「賢い節電7か条」

1. 夏は、冷蔵庫の庫内温度設定「中」を徹底	
2. テレビの省エネモード設定を徹底	
3. 白熱電球は、LEDや電球形蛍光灯へ交換	
4. 「実際の室温で28℃」を目安に、それを上回らないよう、エアコンや扇風機などを上手に使う。	
①フィルターをこまめに掃除する。②扇風機で室内の空気をかき回す。③すだれや緑のカーテンで日射を遮る。④室外機のまわりに物を置かない。⑤室外機への日射をすだれなどで遮る。など	
5. 猛暑日にはエアコン使用の過度な抑制は行わない。	
熱中症に注意し、猛暑日に健康を損なうような節電をしない。	
6. 家電製品等のこまめな省エネを実践	
不要な時はテレビを消す。使用していない家電製品のプラグはコンセントから抜く。など	
7. 消費電力の大きい家電製品は、平日午後2時前後での使用を控える。	
電力需給ひっ迫が予告された時には、特に、使用を控える。電子レンジ、電気ポットなど、特に消費電力の大きい家電製品について、平日の午後2時前後での使用を控える。消費電力の大きい家電製品の同時使用を避ける。など	

事業所向け「賢い節電7か条」

1. 500ルクス以下を徹底し、無駄を排除、照明照度の見直しを定着化	
通年の取り組みが可能な対策として、照明の間引き・照度の見直しを定着化させる(執務室は300~500ルクス程度)。	
2. 「実際の室温で28℃」を目安に、それを上回らないよう上手に節電	
<湿度管理も併せて行い快適性を確保> ①実際の室温を確認。②サーキュレーター(扇風機)を活用し室内の空気をかき混ぜる。③ブラインドを上手に利用。④湿度が高い場合は室温を低めに管理。	
3. OA機器の省エネモード設定を徹底	
4. 電力の「見える化」で、効果を共有しながら、みんなで実践	
デマンド監視装置やビルエネルギー管理システムで使用電力と消費電力の大きな設備等を把握。対策効果を把握しながら効果的な省エネ・ピークカットを実践。	
5. 執務室等の環境に影響を与えず、機器の効率アップで省エネを	
エレベータ機械室・電気室の換気停止や温度設定の見直し(30℃以上設定)、フィルターの定期的な清掃などの保守管理の徹底など設備機器の効率的な運転を実施。	
6. エレベータの停止など効果が小さく負担が大きい取り組みは、原則的に実施しない。	
エレベータ/エスカレータの使用停止や、夜間操業や休日変更等への無理な転換、猛暑日での過度な冷房使用の抑制など、労働環境の快適性等を過度に損なう取り組みは、日常での実施を前提としない。	
7. 電力需給ひっ迫が予告された時に追加実施する取り組みを事前に計画化	
電力需給ひっ迫時には、そのひっ迫の程度に合わせて追加的に取り組む対策を事前に計画しておく(エレベータ/エスカレータの使用停止など)。	